

2023年度教育学科連続公開講義ポスター

| | |
|-------|---|
| メタデータ | 言語: ja 出版者: 公開日: 2024-03-14 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属: |
| URL | https://tohoku-gakuin.repo.nii.ac.jp/records/2000159 |

○ 2023年度 教育学科連続公開講義 ○

教育評価を考える

主催：東北学院大学 文学部 教育学科

開催日

2023年
10月7日(土)～12月9日(土)

会場

東北学院大学 土樋キャンパス
ホーイ記念館 (H304教室) 受付開始 12:30

受講料

無料
全5回

10月
7日
(土)

第1回

13:00～14:30

講師 清多 英羽
東北学院大学
文学部教育学科

教育者フィヒテの憂鬱～生徒・学生への評価と教育実践～

フィヒテは「知識学」や「ドイツ国民に告ぐ」で有名な18世紀末から19世紀初頭にかけて活躍したドイツの哲学者です。本講義では教育者としてのフィヒテの困難にスポットライトを当て、苦悩する教師の姿をスケッチしていきます。

10月
28日
(土)

第2回

13:00～14:30

講師 高橋 千枝
東北学院大学
文学部教育学科

保育・教育現場における発達の視点に基づく評価

保育・教育現場においては子ども達の社会性やコミュニケーション能力を把握することも重要なこととなります。本講義では保育・教育現場における発達の視点に基づいた評価についてみなさんと一緒に考えてみたいと思っています。

11月
25日
(土)

第3回

13:00～14:30

講師 稲垣 忠
東北学院大学
文学部教育学科

探究する学びの評価を考える

児童生徒が課題を設定し、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現する探究は、その学習評価が難しいと言われる。ICTによる探究の蓄積・振り返り、ルーブリックの活用について、小～高校の事例をもとに皆さんと議論します。

12月
2日
(土)

第4回

13:00～14:30

講師 森本 康彦
東京学芸大学
ICT/情報基盤センター

今、求められる学びとその評価とは～1人1台端末に蓄積されるeポートフォリオをどう活かすか～

子供達が主体的・協働的な学びに取り組み、深い学びに繋げる過程では、様々な学びの記録が生成されます。これらを1人1台端末等で電子的に蓄積した「eポートフォリオ」を用いて、資質・能力を多面的・多角的に評価する方法を議論します。

12月
9日
(土)

第5回

13:00～14:30

講師 紺野 祐
東北学院大学
文学部教育学科

教育評価と「教育の目的」

本講義では、教育評価と、教育基本法に明記されている「教育の目的」との関係を検討します。その議論から、教育の営みがかつ本質的な難しさ、そしてそれでも失われたい教育の意味について考えてみたいと思います。